



来賓あいさつ

長野県産業労働部
創業・サービス産業振興室
室長

大槻 覚氏

ただいま、ご紹介いただきました長野県産業労働部創業・サービス産業振興室の大槻でございます。

本日は、一般社団法人長野県情報サービス振興協会の総会が、関係の皆様のご出席のもと盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、ご出席の皆様方におかれましては、日頃から本県の産業労働行政に対し、格別のご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

貴協会は昭和60年創立以来、県内の情報サービス産業の健全な発展と産業の情報化を通して、地域社会の活性化にご尽力をいただいております。そのなかで、若林会長におかれましては、柔軟な発想とその行動力で長年協会を引っ張ってきていただきましたことに深く敬意を表するところであります。

さて、最近の経済状況でございますが、4月の内閣府月例経済報告によると、「景気は、緩やかに回復している。」とされており、先行きについては「雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。」とされております。

また、県内におきましても、5月10日に日本銀行松本支店が発表した金融経済動向では、「長野県経済は、緩やかに拡大している」とされているところです。

しかしながら、経済の好循環が続く一方で、超高齢社会の到来、急激な人口減少、AI・ロボットなどのテクノロジーの急速な発達により、私たちを取り巻く社会・経済環境は加速度的に変化しております。

こうした中、長野県の新たな総合5か年計画である「しあわせ信州創造プラン2.0」が本年度からスタートしました。「確かな暮らしが営まれる美しい信州〜学

びと自治の力で拓く新時代〜」を基本目標に、「学びと自治の力」を推進エンジンとして政策を展開して参ります。本日、皆様のお手元に概要版を配布させていただいておりますので、ご覧いただければ幸いです。

このプランを展開する重点政策の一つに、「産業の生産性が高い県づくり」を掲げております。

革新力に富んだ産業の創出・育成や地域内経済循環の促進などを通じて産業の生産性の向上を目指すこととしておりますが、第4次産業革命が進展する中、産業の生産性向上にあたりAI・IoT・ビッグデータ等のITや情報の重要性はますます高まっております。県といたしましては、県内経済発展のための重要な産業として、ICT産業の振興を皆様方のお知恵も拝借しながら、しっかりと進めてまいることとしています。

具体的な、今年度の事業展開としましては、県外からIT人材等のトライアル移住を促進する「ときどき&おためしナガノ」を昨年度に引き続き実施します。本事業は今年度で4年目になりますが、過去3年間に首都圏等から長野県へのトライアル移住を実施した30事業者のうち、事業終了後も半数以上が県内の拠点を維持するなど一定の成果を上げることができております。

また、今年3月には、皆さまのお力添えにより「IT・IoTを活用した生産性向上セミナー」を開催させていただきましたが、今年度も県内事業者の生産性向上を目的として、IT活用を促すセミナーを実施したいと考えております。

そのほかにも、松本にあります工業技術総合センターの情報技術部門に「IoTデバイス事業化・開発センター」を来年3月までに設置し、企業の研究開発を支援するとともに、事業創出に係る専門人材を配置し、IoTデバイスの開発・活用に向けての一貫した支援を産業労働部として図ることとしています。

県内企業のビジネスチャンス誘引するため、我々行政もしっかり対応をしておりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、長野県情報サービス振興協会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍とご多幸を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。



NISA会長 退任御挨拶

一般社団法人
長野県情報サービス振興協会
前会長

若林 邦彦

会員各位におかれましては、御健勝にて御活躍の事と心より御慶びを申し上げます。

私儀、先般開催されました、平成30年度の総会をもって退任させていただく運びとなりました。思い起こしますと黒坂前会長の急逝に伴い、後任として残りの任期をと暫定会長として御受けしましたが、その後の総会で何事も無かったような呆気なさで会長に再任され3期6年と合わせ、なんと7年に亘って務めさせていただく事に成ってしまいました。会員各位には多大な御迷惑をお掛けしました事を心よりお詫びいたします。

さて 明治開国時に旧来の「和魂漢才」から変じ「和魂洋才」と言う言葉が生

まれました、日本固有の精神と文化を尊重し、欧米の技術を活用し経済の活性化を達成すると言う、しっかりと日本の立ち位置を礎にしての開国を標榜しておりました、その後の日本の急速な文化と経済の発展が、新たなアジアの経済大国としての役割を押し付けられ、壮大な理想の追求が大きな失敗となり、自信喪失の俣戦後70年を迎えております。将にこれからの日本の将来「繁栄か滅亡か」のスタート地点と言えます、今日まで20年余り日本はプライマリーバランスに重点を置く、余りに経済に通じない一部の政治セクターによって無駄な時を過ごしてしまいました、その結果、今迄日本の誇ったアドヴァンテージが全て失われてしまいました、教育、研究開発特に素材や新たな技術、インフラの整備etc…。

話は変わりますが、東京オリンピック直前に竣工した新幹線は当時日本にはお金がなく世界銀行から借入れをして完成を見ました、今新幹線がない日本を想像することが出来るでしょうか、現在世界唯一の対外債権大国の日本が将来への投資を緊縮財政の犠牲にすることの愚かさを知るべきです、アジアの国々が直ぐ後ろに迫っています、我々の業界も積極的にフロンティアを切り開く勇気と覚悟が求められております、会員各社の大いなる発展を期待いたしております。



未知の世界は、おもしろい — クラウドの先へ。

図書館情報システム & EIP企業情報ポータル

ISO14001 認証取得 ISO27001 認証取得
プライバシーマーク付与認定

アネックス インフォメーション株式会社

〒386-1211 長野県上田市リサーチパーク813-11 事業所/長野・岡谷・東京・群馬
TEL.0268-37-1500 FAX.0268-37-1588 <http://www.annex-info.co.jp>